

## 職員による自己評価

### A環境面

- ・1日の受け入れ人数にもよるが、10人の子は一緒に活動しにくい。
- ・あと1人職員が増えると良い
- ・急な休暇(病気等)の場合、柔軟に対応している。
- ・小学生の運動スペースとしては小さめである。
- ・児発管がない

### B児童への支援内容

- ・都度、必要な研修のみ。専門研修が必要。
- ・子供の状態に合わせて日々、工夫をしている。
- ・個々に合わせたプログラムを心がけている
- ・保護者とよく確認し、相談しながら支援している
- ・子どもたちとのコミュニケーションについてパネルやサイン等を使い工夫している

### C関係機関との連携

- ・必要に応じて確認をしている
- ・契約時に必要な情報を整えている
- ・画、LINEを活用して都度共有している
- ・保護者会にてプチ研修を行っている

### D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者会は行っているが、保護者同士のやり取りする場はない
- ・地域のケアプラザへ事業案内は出しているが、参加型のものは出席できていない

### E非常対応

- ・子供たちを連れて防災訓練を行っている
- ・食物を提供していないため保護者から必要に応じて行っている

## 保護者による評価

### A環境面

- ・教室はかなり大きく活動しやすい。
- ・小学生には少し狭い。
- ・とても手厚くあたたかく受け入れてくれている。子どもも先生たちが大好き。
- ・職員の人数は、スペースの割に多く配置されている。
- ・理学療法士の方がいると専門的な相談ができて良い
- ・動画で事業所内は見えたりするが、実際には見学時だけで普段の様子は見られていないので何も言えない。
- ・とても清潔に管理されている。

### B児童への支援内容

- ・支援計画に沿った支援内容になっているか、もう少しわかりやすくフィードバックして欲しい。
- ・「今回はこれをやったんだな」と毎週飽きさせないよう工夫している。制作も豪華で楽しみ。
- ・毎回のサーキットは内容が違って工夫が良くされている。
- ・毎回活動プログラムの内容が事前に把握できないため、次回は何を実施するのか知りたい。
- ・毎回、サーキットをしている印象。
- ・個別で行っていることもあり、他の子どもとの接点はない。

### C事業所からの情報発信

- ・保護者会をオンラインで行っている。とても勉強になった。
- ・いつも帰りに色々な話を聞ける。動画も楽しみで、子どもも「見てみて」といつも見て欲しいがる。
- ・支援終了後に子どもの状況を細かくきける。
- ・相談した(支援して欲しい)内容が実際行われているのか、進捗状況の報告等がないので不明。
- ・活動の様子を動画で送られてくるのでどんな内容をどんな様子で取り組んでいるかがわかり安心。
- ・ラインを使って動画や活動等の連絡が随時行われている。
- ・頻度が少ない。(保護者会の)
- ・同じようなご家族となかなかお会いする機会がないので、あれば嬉しい。

### D非常対応

- ・避難場所については説明を受けたい。
- ・訓練されているかはわからない。

### E満足度

- ・毎週とても楽しみにしている。サーキットやクライミング、発音練習などしっかり療育をおこなってもらって成長を実感できる貴重な場所。来年も通えるかが心配。
- ・前日から行くのを楽しみにしており、自分の準備ができたらずぐにでも出掛けようとしている。
- ・複数の事業所に通っているが、元氣ジムが1番好き！
- ・肝心なところはなるべく触れられないようにごまかそうとしている節が伺える。PTの常勤がいなくなる事が何も知らされず、いきなり動画での告知だったが事が非常に残念。事前に、1人1人の保護者に伝えるべきだった。
- ・家や外では運動援助するのが難しいので、習いはじめに比べるとかなり色々な面で上達できた。
- ・改善点はいくつか感じるが、支援内容はおおむね満足している。

## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ・帰りやLINE等でその日の活動の様子や連絡事項を伝えている。
- ・保護者会は実施しているが、オンラインのため保護者同士が交流する場がない。
- ・その日の子どもの様子に合わせて毎回サーキットの内容などを工夫している。
- ・小学生の運動スペースとしては狭く感じる。

### 【相違点】

- ・避難訓練、災害等のマニュアルについての周知がされていない。
- ・課題を達成したときや新たな課題が見つかった時、活動の内容などが職員間の共有はされているが、保護者に対しては不十分であった。
- ・活動プログラムの内容を事前に伝えていない。

事業所の強み

- ・定員10名に対し児童指導員2人という国の人員配置基準を常に満たし、なるべく子ども3人に対し職員が2人以上になるように配置している。
- ・職員のほとんどを児童指導員、教諭免許取得者で配置している。
- ・毎回異なるサーキットの実施や、毎月テーマと目的を変えての制作活動をおこなっている
- ・療育実施中の動画の共有や、口頭での様子の共有が出来ている
- ・基礎的な身体づくりの実施
- ・子どもが通所を楽しみにしている
- ・感覚統合療育のための室内遊具が多くある

事業所の改善点

- ・活動室は国の設備基準である児童一人あたり2.47㎡以上で集団活動が行える死角のない指導員の目が届く空間になっているが、小学生以上になると狭く感じる。
- ・毎回の制作等活動内容を事前に共有できていない。
- ・保護者への支援計画に対する進捗など活動報告が十分ではない
- ・非常時や感染症についての周知が十分ではない。

事業所の改善への取り組み

- ・非常時のマニュアルが策定されていることや、避難訓練実施について契約時や保護者会にて共有しているが、今回、非常時の対応についての周知が十分でないことが分かったため、情報共有の方法を見直し、保護者様にもご理解いただけるよう努める。
- ・毎年度保護者会を開催しているがオンライン実施のため、どこかで保護者様同士の交流の機会を検討する。
- ・室内で大型の療育遊具があるため、引き続きスタッフは細心の注意を払い安全面の確保をする。
- ・スタッフは支援の質の向上を図り構築するため、内部外部の研修に参加をする。
- ・お子様に楽しんで通所いただけるよう、遊びの工夫や、声掛けの工夫を続ける。
- ・毎月の制作など事前に活動内容を告知し、安心して通所いただけるようツールの共有方法を検討する。